

森林環境譲与税の活用事業における都市・山村連携に関するアンケート調査の結果(概要)①

- 林野庁では、森林環境譲与税を活用した都市・山村連携を促進するため、令和4年9～12月に市町村への連携ニーズに関するアンケート調査を実施しました。
- アンケートでは、都市部、山村部の市町村それぞれに対して、現在の連携の取組状況や今後の取組意向を聞き取りました。

【調査概要】

- 調査期間：令和4年9月29日～12月9日
- 調査対象：1,741市町村
- 回答数：1,594市町村（都市部：484市町村、山村部：1,136市町村）

※都市部か山村部かは、回答市町村が選択

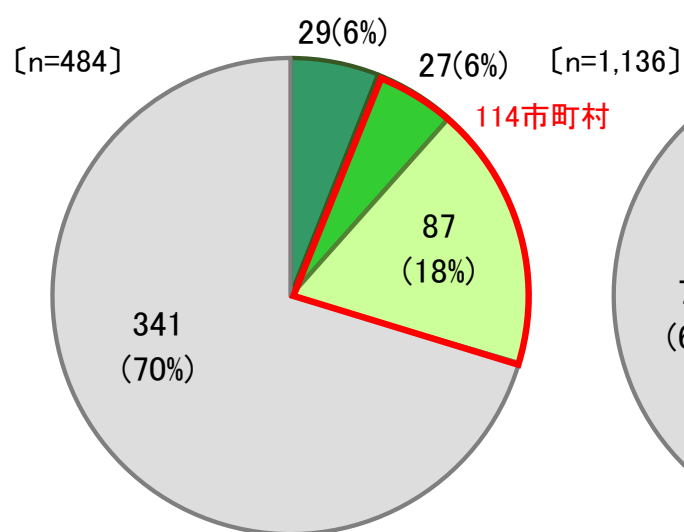
1. 都市・山村連携を実施している又は関心のある市町村の数

○都市・山村連携の取組への関心について、「現在、連携の取組を行っている」と回答があったのは、都市部は29市町村、山村部は13市町村。

○「現在、連携の取組を行っており連携先をさらに増やしたい」又は「取組を行っていないが、関心がある」と回答があったのは、都市部は114市町村、山村部は364市町村。

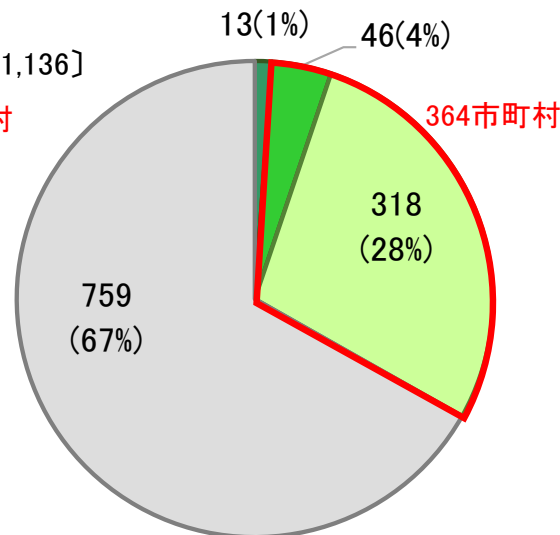
【都市部の市町村】

山村部の市町村との連携状況



【山村部の市町村】

都市部の市町村との連携状況



- 現在、連携の取組を行っている(又は具体的な予定がある)
- 現在、連携の取組を行っており(又は具体的な予定があり)、連携先をさらに増やしたい
- 現在、連携の取組を行っていない(又は具体的な予定がない)が、関心がある
- 現在、連携の取組を行っておらず、今後の予定も未定

《参考：現在連携の取組を行っている市町村の取組例》

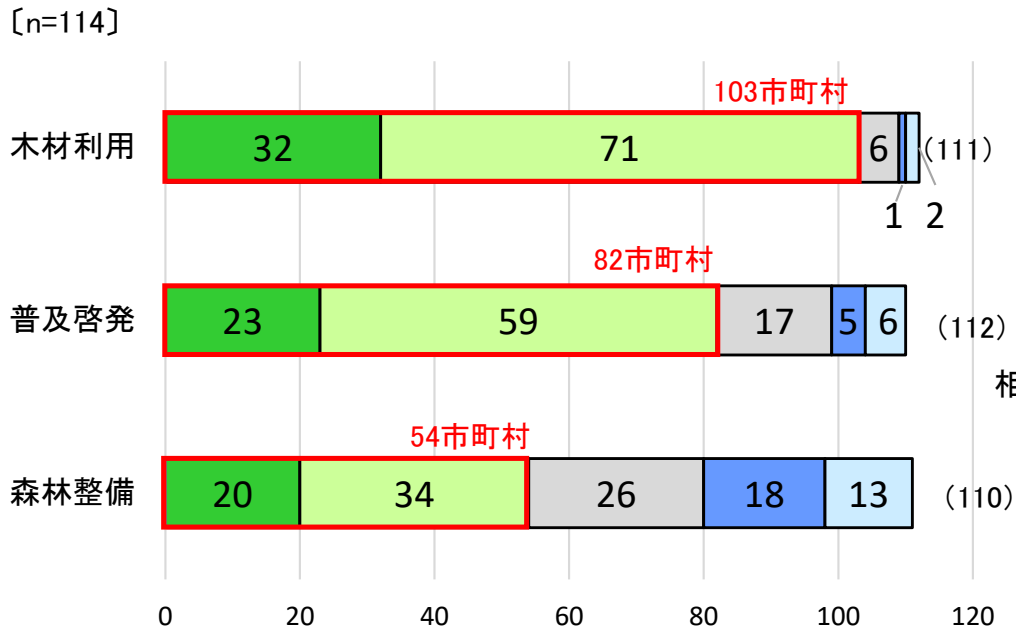
- ・ 都市部と山村部の市町村とで森林の育成・保全に関する協定を締結し、都市部の市町村が森林の整備に要する費用を負担
- ・ 都市部の住民を対象とした、植樹ツアーの実施
- ・ 山村部の木材を利用した積み木を、都市部の新生児へプレゼント等

森林環境譲与税の活用事業における都市・山村連携に関するアンケート調査の結果(概要)②

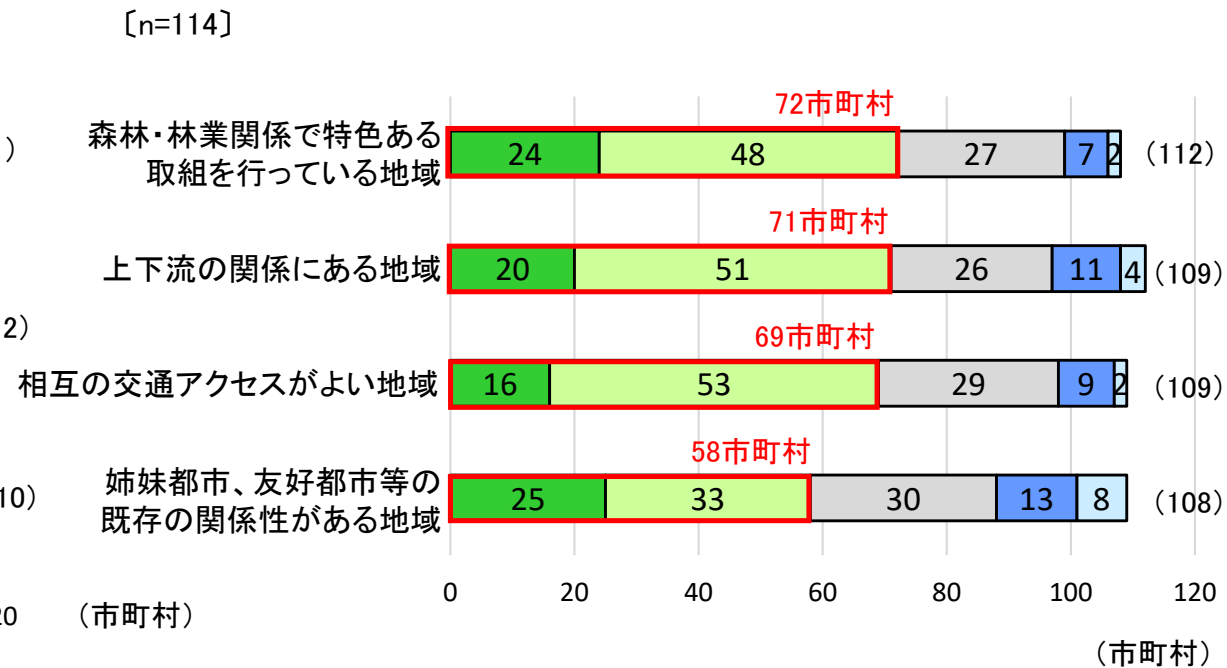
2. 都市部市町村における連携内容や連携先の地域に関するニーズ

- 「連携の取組を行っており連携先を増やしたい」又は「連携の取組を行っていないが関心がある」と回答のあった都市部の114市町村では、
 - ・ 「木材利用」の取組に関心を持つ市町村が最も多く(「とても関心がある」「少し関心がある」を合わせて103市町村(90%))、次いで「普及啓発」(同82市町村(72%))、「森林整備」(同54市町村(47%))の順。
 - ・ 連携先の地域としては、「森林・林業関係で特色のある取組を行っている地域」、「上下流の関係にある地域」、「相互の交通アクセスがよい地域」に関心があるとの回答がそれぞれ約70市町村(60%程度)。

【都市部の市町村】 取組分野への関心



【都市部の市町村】 連携先の地域への関心



■ とても関心がある
 ■ 少し関心がある
 ■ どちらでもない
 ■ あまり関心がない
 ■ 関心がない

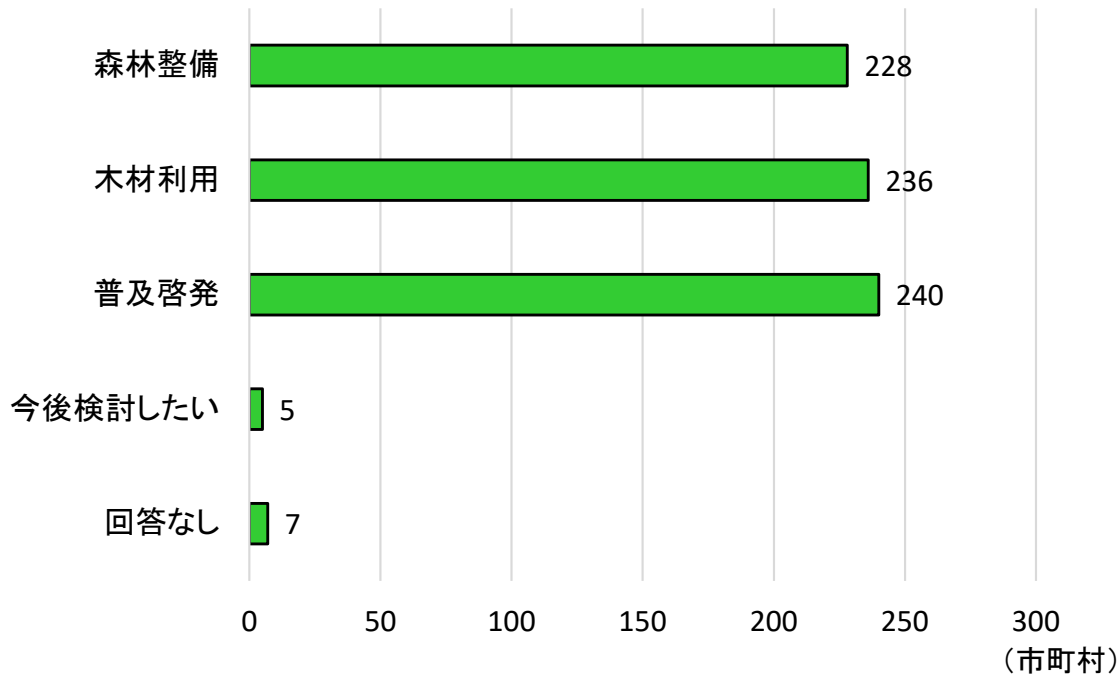
森林環境譲与税の活用事業における都市・山村連携に関するアンケート調査の結果(概要)③

3. 山村部市町村におけるシーズ(提供可能なコンテンツ)

- 「連携の取組を行っており連携先を増やしたい」又は「連携の取組を行っていないが関心がある」と回答のあった山村部の364市町村では、森林整備、木材利用、普及啓発のいずれの分野についても、6割以上の市町村が「コンテンツを提供可能」と回答。
- 具体的なコンテンツとしては、森林整備のフィールド提供や、地元産木材を使った製品等の提供、森林体験プログラムの提供、木育イベント等の共催などが挙げられた。

【山村部の市町村】 連携提供可能なコンテンツ(複数回答可)

[n=364]



《森林整備の具体的なコンテンツ》

- ・ 森林整備のフィールド提供
- ・ 森林整備によるJ-クレジット、カーボンオフセットの取組
- ・ 林業に関心が高い人向けの森林施業体験

等

《木材利用の具体的なコンテンツ》

- ・ 地元産材を使った木製什器・小物、木のおもちゃなどの提供
- ・ 公共建築物の木造化・木質化への地域産材の提供
- ・ 薪、チップ等の提供

等

《普及啓発の具体的なコンテンツ》

- ・ 植栽体験や森林散策等の森林体験プログラムの提供
- ・ 木育イベント等の共催
- ・ 森林環境学習の実施
- ・ 修学旅行の受け入れ(木育学習、森林体験実習などのプログラムの提供)
- ・ 森林施業・木材共販市・製材工場の見学受け入れ

等